

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる ／自己成長はどうやったら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講座	必修	
	学則上表記	分野別講座Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック鍵盤・竿物もこなすマルチテック。 技術向上に常に向き合っている。					
授業概要						
ローディーに関連した、主に楽器周りの総合的授業						
到達目標						
楽器周りの総合的な基礎知識の習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	ステージプロットの基礎知識					
【前期】 4～7回目	セットリストの基礎知識					
【前期】 8～10回目	タイムテーブルの基礎知識					
【前期】 11～14回目	ギターアンプ周りの基礎知識					
【前期】 15～18回目	ベースアンプ周りの基礎知識					
【後期】 19～22回目	キーボードの基礎知識					
【後期】 23～26回目	ドラムの基礎知識					
【後期】 27～30回目	同期・DAW関連の基礎知識					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	楽器概論Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	楽器概論Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
現場でのセッティングから技術的、理論的なことまで基礎知識およびローディー以外の現場セクションのことを学ぶ。						
到達目標						
ローディーという現場で行われている事項の理解、円滑に仕事を進められる知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ドラムの歴史(各太鼓の名称、サイズ) ドラムの取り扱い方、ケースの出し入れ方法 シンバル、シンバルスタンドについて					
【前期】 6～10回目	ドラムの表記(省略表記。各ハードウェアの名称) キーボードの歴史音楽録音と音楽制作の歴史 MIDIの基礎					
【前期】 11～19回目	ギターの基礎 ベースの基礎 ギターアンプの基礎					
【前期】 20～28回目	ベースアンプの基礎 エフェクターの基礎 シールドの基礎					
【前期】 29～36回目	コネクターの基礎 楽器の仕事について ローディーの一日の流れ					
【後期】 37～44回目	音楽業界、他セクションの仕事内容について ツアー中の他セクションとローディーの関わり バンドセッティング図面を読む					
【後期】 45～50回目	PA特別授業 照明特別授業 舞台特別授業					
【後期】 51～57回目	ピアノ特別授業 管楽器特別授業					
【後期】 58～60回目	レコーディング特別授業 秋葉原電気街見学					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	PC実習	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース□			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認				
【前期】 5～8回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力				
【前期】 9～12回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成				
【前期】 13～16回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面				
【後期】 17～20回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化				
【後期】 21～24回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題				
【後期】 25～28回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成				
【後期】 29～30回目	課題提出 1年間の総まとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実習Ⅰ－Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ローディー実習Ⅰ－Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
各楽器の取扱い方、結線システムの構築を実際に行う。						
到達目標						
ローディーの基本技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	ギターの基礎 ベースの基礎 チューニングの基本					
【前期】 3～6回目	弦交換の基本 ペグの種類による違い ギターの音が出る仕組み ギターの構造					
【前期】 7～11回目	重量物の取り扱い方実践 アンプの歴史 エフェクターの基本					
【前期】 12～19回目	アンプセッティング～エフェクターセッティング ハードケースの扱い方 インピーダンス					
【前期】 20～28回目	エフェクターの省略記号 センドリターンについて ラックケース					
【後期】 29～36回目	エフェクターの電源 楽器メーカー名読み書き エフェクターボード作成					
【後期】 37～44回目	機材極性の測定方法とマーキングのルール ベースアンプBi-Amp実践 スピーカーインチ数の考え方					
【後期】 45～52回目	ケーブル特性 アンプの転換～セッティング ベース用エフェクターの考察					
【後期】 53～60回目	Delayタイムとリズムの関係 ギターベース持ち替え実践 トラブルシューティング					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実習Ⅰ－Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ローディー実習Ⅰ－Ⅱ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器構造の原理に着目し新商品の開発にも従事するオールラウンドローディー。 温故知新・日進月歩で機材に取り組んでいる。アーティストからの問合せが絶えない。					
授業概要						
キーボード全般の基本的な知識および各種の周辺機器の使い方を学ぶ。						
到達目標						
キーボードの音出しをミキサーの知識とともに習得。 音楽業界における楽器セクションの役割の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	キーボードとケースの取扱い スタンドの取扱い					
【前期】 6～10回目	各楽器の音を出しチェック キーボード用各種ペダル					
【前期】 11～19回目	キーボードの転換の基本 キーボード出力をPAシステム送る基本的な配線					
【前期】 20～28回目	キーボードセット仕込み ケースの開け方、本体清掃など					
【前期】 29～36回目	いろいろなキーボードスタンド アウトプットとキーボードアンプ					
【後期】 37～44回目	サスティンペダルとボリュームペダル キーボード転換においてのTips					
【後期】 45～52回目	音声の伝達、マイク、ミキサー、アンプの仕組みとその関係 同期セット仕込み					
【後期】 53～60回目	バミリ(マーキング)について バンドごとに色分けして区別する					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージベーシック実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
舞台に関する基本的な知識、企画ライブ等のシミュレーション、ハンダの基本的な使い方、シールド製作等、舞台全体の基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
楽器に関すること以外の現場で必要な知識の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台用語の基礎 舞台に関する事 ステージ電源について					
【前期】 6～11回目	外部研修対策について 機材車(ハイエース)の積み込み方法 ステージ図面の読み解き方、転換の考え方と実践、バミリの仕方					
【前期】 12～18回目	バンド台の組み方 イベント対策について 企画ライブシミュレーションについて					
【前期】 19～25回目	転換実習 野外対策方法について					
【前期】 26～32回目	電源の基本 スライダックのセッティング 電源の引き回し、セッティング					
【後期】 33～39回目	ハンダ座学 ハンダ基本練習 シールド作成					
【後期】 40～46回目	電源タップ作成 マイクケーブルの作成					
【後期】 47～53回目	TRSプラグの作成 パッチケーブル作成					
【後期】 54～60回目	スピーカーケーブル作成 ワニ⇄ワニケーブルの作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						